〔昭和九年十月九日　磐城新聞　〔火曜日〕　第四千百四十八號　〔一〕
〔昭和二十五年三月二十日第三種郵便物認可〕

踊子悲歌（エレジイ）

藤尾禎亮

一

『ダンサー』だつて、矢張り普通の女には違ひなかつた。夏の日の歡喜、冬の日の悲哀は知つてゐた

ルミも、普通の女と變りなく理も、情も、知つて居る踊子だつた

ルミの勸めて居たキャバレーにも、黄昏の淡いヴェールと共に華やかな、ジャズバンドの韻律に幾組かのステップの亂舞が初められた

ルミも連れの若い青年と手を組むとゆるやかなリズムに、フオックストロットのステップを踏み初めた。シャズは種々な曲を次々に奏して呉れた。二人は暫らく踊つた

今宵のルミの動作は、何か知ら秘された物の戰きに今迄の朗らかさにはなれなかつた、倦れ勝ちだつた

『あんた、今夜はヂャン〳〵飲まして下さらない』

『む、いゝね』

青年と組んで居た手が左右されるとルミはすぐスタンドへ小走りに寄つて行つた

左の方へ寄つた丸型のテーブルを前に、腰をすえた青年はケースから何やら、金口を一本抜くと、火の點いた煙草は煙の輪を強く吐出した

洋酒の瓶の並んだ棚の前

『ホ、之れが僕の様なカクテルかい、いや面白いね』

と、言つて青年も續いて呑んだ

一と時、ジャズが止むと踊りに疲れた幾組がゝ、テーブルを求めてこつちへ足を向けて來た

潮聲硯靜抄帳

牡丹園一とまはりしぬ寺

歸り　よしを

夏痩の鏡を見入るはかりなり

等草庭に伸びゐる藥家哉

汗ばみてシャツの釦外しけり　芳月

降りそめし雨にひるまず

磐城新歌壇

新妻久滿夫選

『思ひ』　◎印秀歌　○佳作

赤井嶽男

◎夕顔の種子黒ずみぬ來年の、これ呉く頃をよと思ひ見る

◎膿腫症の手術せりとふ名古屋なる愛姪を思ふこの日頃かな

佐藤清長

○新しいおもひがふつと湧いて來る、平氣な心に汲みとれないもの

◎墨の香のにほひに泌むる想ひあり、凝と眼をとぢ家に籠れり

戸隱奇譚

山の怪秘

丸山寛雄作

(6)

浪木眞畫

人肉の味　(二)

『ふむ、してその河原湯とやらは硫黄の出湯か』

『何だか知らねえが、附木の硫黄の臭ひがプン〳〵するだ。お侍様のも屹度そこで癒るだ。だまされたと思つて行つて御覽なされ』

『まだ遠いかの、そこまでは……』

『なに草津から下へ四里だあよ。今夜はゆつくり草津の宿に泊つてよ、明日の朝明け六つに起して貰つて立つといゝ。草津を立つて街道十町ばかり行くと、道は二つに別れるだ。御大事になさらかな氣分で彼等はいつ迄居たが、一週間たつても二週間たつても、やがてはそれも一ヶ月たつてもわからたのだ。それにその顔ぶれが一ヶ月たつてもわからないので、つひにもてあまして棄てゝ置いたのだ。

だが不思議な事にはいつ迄たつてもつひに彼等の死體は發見されなかつた。そこで彼等の親達は最後に仕或る秘密な？場所で互ひに抱擁しながら幸福に樂しく未來の夫婦の夢を胸にいだきながら死んで行つたのであらう。そして彼等は今何處かに安住の地を見出し、安らかな永遠の夢を結んで居る事であらう……

——だがおしい事には筆者にも勿論その場所はわからない。

（完）

彼等の死

前田勝江

（20）

姓名

『と言ふ事があるが全くボク達にとつて『死』と言ふものは最後の樂しみであり、そして喜こびだ。ボクは借女を誘ふ夢の出來る事がどんなに嬉しい事か……』

『私だつてどんなに……』

マチ子は彼の胸にひしとばかりとりすがつて——總ては生死を超越したものゝみが獨占する事の出來る朗ややがて遠く向ふ山のお寺にて杵き出す暮六つも淋しくかすかに聞いて——彼等はやがて來るべき死への最方なく警察へ捜索願ひを出したのだつた

だが不思議な事にはいつ迄たつてもつひに彼等の死體は發見されなかつた。そこで彼等の親達は最後に仕或る秘密な？場所で互ひに抱擁しながら幸福に樂しく未來の夫婦の夢を胸にいだきながら死んで行つたのであらう。そして彼等は今何處かに安住の地を見出し、安らかな永遠の夢を結んで居る事であらう……

——だがおしい事には筆者にも勿論その場所はわからない。

（完）

黒小倉通學服賣出

一望秋色

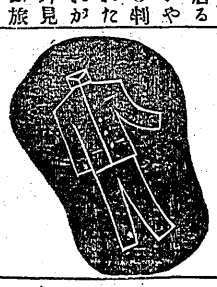
御召替です

皆様の御滿足のへ

さあかやに品が何時も

なる澤山揃

得て御座ひます



小學生用(長ズボン付)

A……90よりり

B……1,10よよ

特製品……2,50よ

中學生用

特製6號……3,50より

御註文(特上)…6,30均一

ふかや洋服店　平町三〇五

廣告

諸判定願願

原宿市本郷區湯島四丁目五番地

高島易隣翁本部　神　醫館

▲一白の人　次第に精力弱り逃まんとするも意に叶はず▲二黒の人運氣緩慢にて活動宜しきを得ざれば過あり▲三碧の人　目先きの利き過ぎて才智倒れとなる事あり▲四綠の人　くも行怪しく變化多端なるの日我慾に耽るな▲五黄の人見掛倒しの運勢にて安心に過ぐれば害有り▲六白の人　幸福も加はり活氣も出づべく精勵するが吉▲七赤の人　衆するより生むが易く事々卒先して勵べし▲八白の人がん前の利慾に迷ひ困惑する事多し自重せよ▲九紫の人　丹精かひの現はれて賞りの擧がなるが如し

舊九月一日　火曜　新九月一日　平日　先負　大安

日出　五、四一　月出前　六、〇七

日沒　五、一五　月沒後　五、一〇

滿潮前五、三五　千潮前一一、三五

滿潮後五、二〇　千潮後一一、四五

毛糸編物講習會

各婦人雜誌推奨のS式高速度編物器の講習會を催します。

期日　十月二十一日ヨリ五日間

會費　一圓

講師　大日本編物研究會　松井富美子先生

會場　ハシモトヤ糸店階上

編物器は講習中御貸し致します。講習修了の方で御希望により編物の御世話致します。

平町　ハシモトヤ糸店　電十四番

小店員數名募集

十三歳より十七歳迄

心身強健なるもの

獨立の際は必ず援助す

（詳細は磐城新聞社宛照會の事）

東京市日本橋區大傳馬町三丁目壹番地貳

內外各種糸物商

株式會社　藤掛商店

電話浪花(67)〇、三二一番　振替東京三、一四〇番　電信略號(ワ)　受信登錄(トウキヨウフヂイト)

（營業部一〇番　店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

お醬油は……ヤマフル

鹽屋

味噌醬油

たひら正宗

經飾食料品

山崎合名會社

商品　福島縣平町

電話(本店)

耳鼻咽喉科專門

醫學士　鈴木正男

平町田町（電話五八番）

藤田女學校前

「入院のお勸めに應ず」

齒科口腔外科

日本齒科醫學士　鈴木喜政

內郷村高坂磐炭病院前

安齊外科醫院

入院隨意　自炊の便あり

平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

內科　臟外科

外科　一般

花柳病科

入院隨意（自炊の便あり）

外科專門

X光線科

平南町

上田醫院

病室完備（電話二二九）

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店

金物問屋

和洋銅物　久　釜屋商店

磐城國平町五丁目

電話九番　九九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

產婦人科

院長　木村寅次郎

外科

醫學博士　內木宗八

藥局

藥劑師　玄番彌一

平町新川町十九番地

入院隨意

病室完備

木村病院

電話一六四番

診療科目

一、齒科一般

保存科、補綴科、繼鐵架工科

齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科

一、口腔外科

一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長　日本齒科醫學士　中野憲次

日本齒科醫學士　西川誠

平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

平町　高久病院（電話五三一番）

醫學士　高久忠

新潟醫學士　赤羽信

藥劑士　佐竹蘋

內科　小兒科

外科　花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

吸入用酸素　純度99%

商重

モノサシ

マス

ハカリ

商重

體温器

寒暖計

◎糸・緒・秤ハ取リ、垂レ、修ヘ、捩ヂ致シマス

開業

開業藥局

電話四〇番

一第質品

番八六二話電

平牛乳舍

平町・九品寺前

夕刊

十月八日發行

定價一ヶ月金六拾五錢

（日曜祭日翌日休刊）

磐城新聞會社

福島縣平町十六番地

電話（編輯）（營業）

（日曜祭日翌日休刊）

月曜論壇

濡れ米購入提唱

町當局に望む

昨今殆ど天井知らずの騰勢を示しつつある米價は實に過ぐる大正七年米騒動勃發當初の記錄に達し、因て以て中下層級を脅威しつつある實情は、假に各方面の匡救事業等によつて當面を緩和されなかつたなれば其の間眞に寒心に禁へざる結果を招徠したでは無かつたか未だ以て知るべからざるものがある、而も價格の騰かに低廉なる點に於て近來各所に行はれつつある政府拂下げ米購入の如きは一部中小農家を潤すに止まり其他の階級には之が配給の普遍性を有せざる爲他に全面的の匡救對策の出て來る事を翹望して居た折柄、東北六縣知事が六日山崎農相に招致され大阪米穀事務所管内の濡れ米を飯米用として拂ひ下ぐる旨の傳達を受けた事は今や空腹に苛々たる地方民にとつて正に天賚の福音とも謂ふべきである、卽ち現在七十萬俵を出積してある大阪の濡れ米は今八日東北六縣の技師が夫々大阪に出張拂下げ數量に就て協議する筈で、その結果多寡は第二として當地方へも若干の均霑あるべきは蓋し既定の事實と觀るべく、而して拂下げ價格は品質によるが俵當り五圓から六圓迄の程度であらばかり、農林省では地方窮乏の現狀に鑑み右買入代金の一ケ年延納を認むると云ふ恩典から味覺の點に多少の犧牲を拂つても之によつて急擔の重壓を免かれんとする階級が極めて多數なるべきは豫め想像するに難からぬものがある以上町當局としては此際多大の關心を之に拂ひより多く之が購入を策すべく備ふる處あつて欲しいと思ふ、事の成行きは素より今後の推移に俟たねばならぬが、拱手漫然として後手に廻るが如き事あらば之に伴ふ不利益恐らく鮮からぬものがあるであらう。須く關係の當局の重大性に稽へ町當局の遺漏無き手配を冀望して止まぬ

位置決定の前提こそ

公會堂　第四校と新川水路

研究

青沼町長夏井川改修事務所長と協議

町勢伸展と共に公堂と乘用してはとの意見が諸般の設備が着々改善さ擡頭して居り町當局でも曾に運搬船の被害等供給機關の破損等もある事一、本年八月迄の需給調節區競技會等に關し協議するものと見られ、加ふるに過ぐる大正七年米騒動勃發當初の記錄に達し、因て以て中下層級を脅威しつつある實情は、假に各方面の匡救事業等によつて當面を緩和されなかつたなれば其の間眞に寒心に禁へざる結果を招徠したでは無かつたか未だ以て知るべからざるものがある、而も價格の騰かに低廉なる點に於て近來各所に行はれつつある政府拂下げ米購入の如きは一部中小農家を潤すに止まり其他の階級には之が配給の普遍性を有せざる爲他に全面的の匡救對策の出て來る事を翹望して居た折柄、東北六縣知事が六日山崎農相に招致され大阪米穀事務所管内の濡れ米を飯米用として拂ひ下ぐる旨の傳達を受けた事は今や空腹に苛々たる地方民にとつて正に天賚の福音とも謂ふべきである、卽ち現在七十萬俵を出積してある大阪の濡れ米は今八日東北六縣の技師が夫々大阪に出張拂下げ數量に就て協議する筈で、その結果多寡は第二として當地方へも若干の均霑あるべきは蓋し既定の事實と觀るべく、而して拂下げ價格は品質によるが俵當り五圓から六圓迄の程度であらばかり、農林省では地方窮乏の現狀に鑑み右買入代金の一ケ年延納を認むると云ふ恩典から味覺の點に多少の犧牲を拂つても之によつて急擔の重壓を免かれんとする階級が極めて多數なるべきは豫め想像するに難からぬものがある以上町當局としては此際多大の關心を之に拂ひより多く之が購入を策すべく備ふる處あつて欲しいと思ふ、事の成行きは素より今後の推移に俟たねばならぬが、拱手漫然として後手に廻るが如き事あらば之に伴ふ不利益恐らく鮮からぬものがあるであらう。須く關係の當局の重大性に稽へ町當局の遺漏無き手配を冀望して止まぬ

高は聯合會非加盟坑の增産が約四十萬噸にも達せんとしてゐるので同新量を加算する時は緩和を中止せざる迄も見込るの外ない

風水害が生んだ教育美談を語る

戊申詔書奉讀式の第二校

平第二小學校では來る十三日の　戊申詔書御下賜記念奉讀式後校長より先哲の遺蹟地方風水災害に生れた敎育美談を訓話するが右に就て津田校長は語る

校舍倒壞に際し傷き乍らも級友二十四名を救つた大阪市北恩加島小學校尋四の鐵腕級長谷山德幸（一二）君及び『天皇陛下萬歲』を叫びつゝ死んで行つた同鶴橋小學校尋四の女兒田村久子さんの二人の行爲に持に感激したのでこれを中心に話したいと思ふ、尙後でその他をも謄錄してパンフレットを作製配布することになつてゐる

回生の心境を叙し各方面に喜びの挨拶

最近小野氏から發送

第三區校長會　來る二十、二一、本年八月迄の需給調節區競技會等に關し協議する

第三區校長會　來る二十、二一、三學期行事、敎育視察、第三學期行事、敎育視察、第三

秋霖煙る高月に濡れ鼠の爭覇戰

昨日健保運動會中止

縣警察部健康保險課主催第六回健康保險被保險者陸上運動競技會は從業員慰安を加味し盛會を豫想されつゝ昨七日午前八時定刻より稍々遲れ入場式、會長代理副會長岡本縣健保課長の開辭、國旗揭揚、會長挨拶、審判長（千田体育主事欠席）下山田磐中敎諭諸注意で同三十分競技に入り秋霖煙る高臺上何れもズブ濡れになつて競技を續けたが十一時三十分八百米リレー陸選終了頃本降りとなり已むを得ず中止して午後の部を行はず同四十分解散した

磐女競技小會

磐女校では一昨六日放課後競技小會各學年對抗の陸上競技（走巾、走高跳）を行つたが一、二年六點、三年三點、四年五點でフイールド物計一、四年十二點、二、三年九點となつたので、來る十七日の運動會にトラック物各種を行ひ合計點により優勝旗を授與される筈である

郡下敎員庭球

延期

となつてゐた体育協會石城支部主催郡下敎員庭球大會は來月四日午前九時より平第一及び平商兩コートに於て開催すること決定した

第一運動會延期　平第一運動會は去る五日正午の　戊申詔書御下賜記念奉讀式後校長より先哲の遺蹟地方風水災害に生れた敎育美談を訓話するが右に就て津田校長は語る

校舍倒壞に際し傷き乍らも級友二十四名を救つた大阪市北恩加島小學校尋四の鐵腕級長谷山德幸（一二）君及び『天皇陛下萬歲』を叫びつゝ死んで行つた同鶴橋小學校尋四の女兒田村久子さんの二人の行爲に持に感激したのでこれを中心に話したいと思ふ、尙後でその他をも謄錄してパンフレットを作製配布することになつてゐる

回生の心境を叙し各方面に喜びの挨拶

最近小野氏から發送

決は取り消しとなり原告申立却下の事に確定致し候間御安心相願度必覺各位の絶大なる御支援の賜と深く感銘仕ると共に謹んで御芳情辱く厚く御禮申上候。先は右不取敢御挨拶旁々御通知申上度如斯御座候。　頓首

昭和九年十月一日

繭價俄然卅三圓

對外好調に煽られ

四倉市場で連續奔騰

四倉繭市場に於ては過般三坂、四倉、川前、草野、綴十圓五十錢の高値を現出し合戸、八茎、白水、平町新失意の地方養蠶家をして愁川町、同紺屋町、同胡摩澤眉を開かしめ其の後幾分漸落を辿りつゝあつたが横濱生糸の對外好調により一昨六日は俄然

（出廻）一、〇五〇貫七八〇匁（高）三〇、六〇（低）二〇〇、〇〇（馴）二七、七〇〇

遂に最高三十圓六十錢と言ふ好調を示し昨七日は之亦（出廻）二四三貫四七〇匁（高）三三、〇〇（低）二三、一〇（馴）二九、四〇〇掛目二二で復々驚異的新高値を出したが横濱に於ける好調が續けば未だ騰るものと見られて居る

三等局長會

簡保開拓を協議

縣東部三等局長會第二區（上平、內郷、西小川、三

縣購聯平出張所開設

各機關の連絡簡易化

地方農村の自覺に伴ひ產業組合の利用者は年々激增を出張所を設置することに決示して居るが農家から全販定、今八日佐川幸一氏が所で雨三年前より之が簡易化を叫ばれて居たが愈々購買販賣組合聯合會では供給の圓滑と物產品販賣の斡旋を圖滑と物產品販賣の斡旋を

酌婦になつたか？

內妻の家出に氣を揉む男

前身迄さらけて其筋へ

仙臺市長町字北町一〇洞口玉川小瀧の湯事前村議渡邊長治郎內縣の妻渡邊せん渡（三七）氏は此程實弟弘（三七）

不幸な盲生に惠む温い乙女ごゝろ

感心な磐女生の隱德

資料を蒐集のため醫備委員會を開けて見ると主事が開けて見ると風雨に拘らず街頭を流して自活の道を圖つて居る盲生に同情し今夏休中貯えた小遣ひ錢を以てこれからの寒さに幾分の助けとなれば幸ひですこの意味の添へ手紙に毛糸の足袋三足及雜巾二十枚が入つて居たのに同主事もスツカリ感激直に同校に問ひ合せた處平町研町居住四年生赤塚某と判明した

乳母入用

生後滿十ケ月（姓名在社）

無言で立ち去つたので梅崎

常備消防隊

來年度には實現か

來年度には實現か

斷獄短篇

（4）

下水に光る帶留め

目先の小慾に眼が眩んで

臍を噛む溝浚ひと不用意な古物屋

之を機に拾つた皮肉劇の色々

仲はこの靴を穿いて昨日嫁の家へ出かけましたが、そんな淺ましい目に遇はされたのでせうか』と嘆き悲しむ者は無いか』と尋ねた。すんだので其仲は直に捕縛されれた、此所迄來ると老嫗の無智もあること乍ら刺史の前達が歸つた時、役人から

汾水のほとりで岸に靴を脫ぎ、流れに下りて洗濯をしてゐたら、馬に乘つて通りかゝつた男にその古靴と落ちてゐた、誰か心當りの者は無いか』と尋ねた。すんだので其仲は直に捕縛されると一人の老嫗が進み出れた、此所迄來ると老嫗の無智もあること乍ら刺史の前達が歸つた時、役人から

の古靴を見せ

「馬に乘つた男が盜賊に殺されたが、そこに之の靴が落ちてゐた、誰か心當りの者は無いか』と尋ねた。すんだので其仲は直に捕縛されると一人の老嫗が進み出れた、此所迄來ると老嫗の無智もあること乍ら刺史の前達が歸つた時、役人から

仕打ちも辛辣過ぎる樣だ

○

唐の代、並州に殺人事件があつたが、犯人は誰とも判明しなかつた。その頃一人の胡人が酒に醉ひ刀を振つて路上に橫臥してゐたので捕へて拷問すると竟に服罪した

州の長官韓思彥はこれに疑を挾んで、翌朝少年數百人を集めて終日廳內に留らせ日沒に及んで歸らせた。同じ事を三日繰返して『お狗盜の類には兎角に愚か

何を訊かれたか尋ねたものは無かつたか』と訊くと。

『ありました』と答へた少年があつた

その尋ねた男を詮索して尋問すると、果して彼が眞の犯人であつた。贓に疵持つ者の心弱さに乘じた措置で、我國の平清盛が三百の秀を洛中洛外に放つたのは この筆法を逆に、己の贓に疵持つ處から無理に押した横車である

○

狗盜の類には兎角に愚か

小兒科　內科　花柳病科

平町ねずみ坂

渡邊醫院

電話一六一番

石炭　コークス　玉炭

平驛前

阿部石炭商店

電話三七番

會津から

潛り炭を買ふ　平町鐵田

町一三盛職橋本傳吉（三元）は去る二月二十四日三坂村の根本キヨ外一名より無檢査木炭二十四俵を買受けた事ふ汽車に搭られながら窓發覺、此程平區より略式罰金十圓に處された

鈴木一男公判　玉川村太字島字島農鈴木一男（三六）に係る私文書僞造行使、竊事件第三回公判は來る十三日午前九時より香西判事、吉岡檢事係りで開廷される

書道用半紙

厚口……一帖　八錢
薄口……一帖　五錢

畫仙紙　白唐紙　二双紙

色紙。短冊。書帖。各種取揃へてございます。

電話……二三四番

柴田書店

平町四丁目

御障子紙

一本（四枚張）金廿五錢

是非御用命をお待して居ります。

廣告

磐城名物

靈峰羊羹

小川鄕驛前

平屋賣店

船木七八の一の姉婿菅野垂之助から今八日平署に捜索願ひ出た

小檜山校長歸校　磐中校の昨夜會津入をいたしました、只今會津の奥地に向至る迄に可なり復雜な事情が伏在するらしい

川島司法主任の手で取調べ中であるが兄弟間に悶ぐに